



JANUARY
2020
VOL. 236

01

発行：京都芸術センター 2019年12月20日



Yukawa-Nakayasu《Dear》(2019)



Mark Salvatus《Dancers》(2019)



Qenji Yoshida《インターセクション กับการนั่งท่องเที่ยว》(2017)



Mong-Jane Wu《Plantation #02》(2014)

Co-program カテゴリー B 採択企画

『ポストLCC時代の』

Co-program カテゴリーBでは、アーティストと京都芸術センターが共に展覧会を企画しています。今年度はTRA-TRAVELと共同で、展示『ポストLCC時代の』を開催します。

世界的に格安航空会社LCCが普及して以降、国を越えて都市間の物理的・心理的距離が急激に縮まり、人や物や情報の移動が加速することで、世界各地の生活はそれぞれに変化しました。本展覧会では日本を含む東・東南アジア圏の4ヶ国7名の作家が、同じ時代の、場所により異なる状況を共有しながら、時に共同で制作を行い、展示します。

Yukawa-Nakayasu(日本)は、観光客が増え匿名者が街にあふれることで、無意識に干渉しあう人々の立ち居振る舞いや身振りを考察するため、家庭内へ見知らぬ人を人為的に配置し疑似的な状況をつくることによって、他者との関係性を映像に収めます。Mark Salvatus(フィリピン)は、航空券が安価になったことでフィリピンでも旅行へのすそ野が拡大する中、彼らは旅先での経験だけではなく、帰国後も所有できる土産品への関心も高いと語り、ご当地Tシャツを作品のモチーフにしています。Wantanee Siripattananuntakul(タイ)と

Qenji Yoshida(日本)は共同制作を通じ、タイから来日する側の人や動植物と、受け入れる日本側という複眼的な視点を体現するように、インスタレーション作品を制作しています。京都で滞在制作したMong-jane Wu(台湾)は、写真で切り取った風景を別の風景に配置することで、物理的な距離を飛び越える想像力を促し、京都と台北の風景をつなぎます。Prapat Jiwarangsan(タイ)は、日本生まれのタイ人の強制帰国を取り上げることで、個人の尊厳やアジア圏のLCCネットワークにおける国々の利権など、様々な移動の力学を可視化します。また、2月6日から4日間上映するYu-Hsin Su(台湾)による映像作品は、日本統治時代に作成された台湾の古地図に描かれ、現在は喪失した赤池川を巡るエッセイフィルム的手法を取り、時と共に変化する都市やインフラを、地政学の視点から考察します。

離れた土地に拠点をおきながら、LCCで互いの場所を訪ね、SNSを通じてアイデアを共有する7名の作家。別々の生活を営みながら、緩く協働する彼らの作品は、どこか共通する眼差しを持つのでしょうか。

移動の飽和状態になって久しいですが、移動できないものや移動しても変わらないものを垣間見ることができるのかしら、と楽しみです。

遠山きなり(アートコーディネーター)

Profile

トラ TRAVEL
TRA-TRAVEL

『観光と人の動線を生み出す』大阪を拠点とするアートハブ。主に日本のグローバル化において見落とされている可能性を探る事、また海外で起きている先駆的な活動を取り上げ相互交流をはかる事から社会に新たな状況を作る企画や活動を国内外で行う。Yukawa-NakayasuとQenji Yoshidaが共同代表。

Co-program カテゴリーB採択企画 『ポストLCC時代の』

日時：1月11日(土)～2月16日(日)
10:00～20:00 ※会期中無休

会場：ギャラリー北・南、インフォメーションほか
出展作家：Mark Salvatus、Mong-jane Wu、Prapat Jiwarangsan、Qenji Yoshida、Wantanee Siripattananuntakul、Yukawa-Nakayasu、Yu-Hsin Su
主催：TRA-TRAVEL、京都芸術センター

【関連企画】

アーティスト・トーク

出展作家のQenji Yoshida、Wantanee Siripattananuntakul、Yukawa-Nakayasuの3名が、展覧会についてお話しします。
日時：1月12日(日)15:00～16:30
会場：ミーティングルーム2
※要事前申込

映像上映

Yu-Hsin Su『water sleep II Akaike river under Xizang Road』
日時：2月6日(木)～9日(日)10:00～20:00
会場：和室「明倫」※入退場自由

料金：無料

※P2もご覧ください

EVENT CALENDAR 2020.01

各種イベント申込方法（別途記載のあるもの、共催事業、制作支援事業は除く）
催し名・住所・氏名・電話番号を添えて、ウェブサイト申込フォーム、TEL、FAXで事前にお申込ください。チケット窓口でも受け付けます。
※印の公演は、京都芸術センター友の会のご招待券・ご優待割引対象公演です（制作支援事業は京都芸術センターチケット窓口取扱公演のみご優待。共催事業はご優待対象外）
その他、友の会特典詳細についてはウェブサイトをご覧ください。
※各種年齢別・学生料金は要証明書呈示
※印の公演は、窓口にてチケット取扱

略称

 …… 日時

 …… 演出、曲目

 …… 共催

 …… 会場

 …… 料金

 …… 問合せ

 …… 席主

 …… 定員

 …… 対象

 …… 出演、出展

 …… 主催

 …… 持物

アイコン

 美術

 伝統

 茶会

 音楽

 ダンス

 演劇

 トークイベント

 ライブラリー

 明倫ワークショップ
（無料・初心者大歓迎!）

 KACセレクション
（共催事業）

2019 12/25 wed.

2020 1/4 sat.

休館日

1/9 thu.

12 sun.

  庄波希＋新宅加奈子『raw』

Co-programカテゴリーD採択企画。すぐそこにあった死をこえて、踊ること、色を纏うこと。あの時とは違う「死」を覗くために、そして、生きていることを知るためにつくるダンス・パフォーマンス。
1月9日(木)－11日(土)19:30、12日(日)16:30  講堂 ●振付・演出：庄波希 ●空間美術：新宅加奈子  一般前売2,500円、U25前売2,000円 ※当日各500円増 ほか   HI×TO E-mail：hixto.design@gmail.com  京都芸術センター ●チケット取扱：チケットぴあ（Pコード：497-746）ほか

1/11 sat.

2/16 sun.

 TRA-TRAVEL『ポストLCC時代の』

Co-programカテゴリーB採択企画。アジア4ヶ国計7名のアーティストによる展覧会。
1月11日(土)－2月16日(日)10:00－20:00 ※会期中無休  ギャラリー北・南ほか  無料  TRA-TRAVEL、京都芸術センター ※展示詳細・関連企画はP1をご覧ください

PICK UP 明倫ワークショップ 冬まつり

1/11 sat.

12 sun.

1月11日(土)・12日(日)の2日間、制作室使用者のワークショップを集中して開催します。連続参加も大歓迎です！
 無料（要事前申込）

1月11日(土)

 康本雅子「新作『全自動煩悩ずいずい図』公開通し稽古＋感想交流会」

2月21日－23日にロームシアター京都にて上演する新作ダンス公演の通し稽古を公開し、ダンサー・振付家を交えた意見交換会を開催します。
12:00－13:30  フリースペース  20名

 コンプリ団「松田戯曲を声に出して読んでみる」

松田正隆氏の90年代の戯曲を声に出して読んでみましょう。声に出してみることで見てくる、戯曲の行間に潜むものを共有します。
14:00－15:30  制作室3  10名  筆記用具

 akakilike「2時間で作品をつくる」

akakilikeのクリエーションを体験してみませんか？日常の身体のままいらしてください。皆さんと時間内に作品を完成させます。
16:00－19:00  フリースペース  10名 ※見学のみも可（見学は申込不要）※動きやすい服装でお越しください

1月12日(日)

 夕暮れ社 弱男ユニット

「オリジナルフォークソングを作ってみよう 星の部」

ギターが弾けなくても、歌が苦手でも大丈夫です。まずは、コードをひとつ覚えて、頭に浮かんだ言葉を声に出せば、それがフォークソングの原石です。
10:30－12:00(夜の部もあり。星の部のみの参加可)  フリースペース  7名  お持ちの方はギター、筆記用具  中学生以上

  正直者の会「戯声ワークショップ」

声を使ってゲーム(戯れ)をします。「声」「言葉」「意味」「関係」などを出し入れしながら、少し体も動かします。「声のダンス」をイメージしてください。
13:00－16:00  フリースペース  20名 ※動きやすい服装でお越しください

 gallop

「『ダブルプラス・グッドフル・アングッド』公開稽古と意見交換会」

1月31日－2月2日に上演する新作パフォーマンスの公開稽古。その後、参加者の方と意見交換を行います。
18:00－19:30  フリースペース  15名

 夕暮れ社 弱男ユニット

「オリジナルフォークソングを作ってみよう 夜の部」

難しいコードが押さえられなくても大丈夫です。フォークソングは、上手じゃなくてもいいんです。あなたが考えていることを聞きたいのです。
20:00－21:30(星の部もあり。夜の部のみの参加可)  フリースペース  7名  お持ちの方はギター、筆記用具  中学生以上

 WRO オン・ツアー2019 京都

ポーランド第4の都市ヴロツワフのWROアートセンターが主催するメディアアートビエンナーレに出展された作品の中から約8点を上映します。
1月13日(月・祝)14:00－15:00(終了予定)  講堂  無料 ※予約不要・入退場自由

 明倫夜話の座Ⅱ-④

「少年が歌謡でたどる戦時(昭和13－20)の明倫学区」

明倫学区にお住まいの方を中心に講師をお招きし、地域への想いや昔の話、それぞれのご職業についてお話しいたきます。
1月15日(水)19:00－20:30  ミーティングルーム2  深見茂(元紙園祭山鉾連合会理事長／ドイツ文学者)  無料  40名  明倫自治連合会、明倫まちづくり委員会  京都芸術センター

  ソノノチ『たちまちの流』

Co-programカテゴリーD採択企画。風景の中を旅する演劇作品。
1月16日(木)19:30、17日(金)14:00／19:30、18日(土)13:00／18:30、19日(日)14:00  フリースペース  一般前売2,800円、学生前売2,300円 ※当日券は各500円増 ほか   ソノノチ TEL：050-5318-7717(制作) E-mail：info@sononochi.com  京都芸術センター ●チケット取扱：京都芸術センター、ソノノチ WEB：http://sononochi.com/tachimachinonagare/ ほか

  居留守「ポストコロニアルと物語」公開レクチャー

Co-programカテゴリーD採択企画、『鳥を吐き出す。』に関連して、植民地主義の歴史やその中で生まれた「クレオール文化」についてのお話を伺います。
1月22日(水)18:30－20:30  ミーティングルーム2 ●講師：大辻都(京都造形芸術大学准教授)  無料 ※要事前申込  居留守  京都芸術センター ●申込み・問合せ：居留守 WEB：https://irusu-kyoto.tumblr.com/

  下鴨車窓『散乱マリン』

Co-programカテゴリーD採択企画。自転車をめぐる思惑のぶつかりあいから生まれる複雑な人間の感覚を、隠喩の手法を駆使してコミカルなタッチで描く作品。
1月23日(木)・24日(金)19:30、25日(土)・26日(日)14:00  講堂 ●脚本・演出：田辺剛  一般2,500円、ペアチケット4,300円、U25 1,800円、初日割2,000円(京都公演のみ)(前売・当日共)  下鴨車窓  京都芸術センター ●チケット取扱・問合せ：下鴨車窓 TEL：050-3709-9538 E-mail：hello@mogamos.link WEB：http://mogamos.link

 BRDG×PETA「『ふれる～ハブロス』公開稽古」

京都のBRDGとフィリピンの劇団PETAの共同制作『ふれる～ハブロス』の稽古の様子を公開します。
1月26日(日)11:00－12:00  制作室12  無料  20名  小学生以上

PICK UP

 連続講座「新内節を語る」(全3回、実演つき)

古典芸能、民俗芸能、それに関わる道具の制作といった各分野の活性のためのプランを全国から公募する「伝統芸能文化復元・活性化共同プログラム」。令和元年度は、「新素材による鉦すりの試作と生産業者の探索」「新内節の発信と保存プロジェクト」「十津川盆踊りの伝承・保存・活用発信」の3件を採択しました。この3つのプロジェクトはすでに始動していますが、「新内節の発信と保存プロジェクト」について、京都芸術センターで連続講座「新内節を語る」(全3回)を開催します。各回毎のテーマに基づいて、今日を担う若手演奏家からお話をうかがい、新内節の現状と将来の展望を多角的な視点から浮かび上がらせることを試みます。

1/25 sat.

第1回「我が師を語る」

新内の代表曲《蘭蝶》《明鳥》をつくった初世を継承する当代鶴賀若狭掾を師とする鶴賀伊勢吉をゲストに迎えて、芸を継承すること、また分家家元として太夫と三味線方の二つの立場で演奏を行う活動形態についてお話をうかがいます。
1月25日(土)15:00－16:30  和室「明倫」 ●講師：鶴賀伊勢吉  20名

2/11 tue.

第2回「創作を語る」

1月11日(火・祝)15:00－17:00  大広間 ●講師：岡本宮之助 ●ゲスト：細川周平  80名

3/11 wed.

第3回「女流を語る」

1月11日(水)19:00－20:30  和室「明倫」 ●講師：富士松菊子  20名

●3回とも聞き手：新内志賀、細野桜子  無料 ※要事前申込



第1回講師：鶴賀伊勢吉

  福谷一美×オトグラム

Co-programカテゴリーD採択企画。音と映像が連動する「オトグラム」を用いたコンサート。

1/28 tue.

『ガラスの笛のファンタジア』

ガラスの横笛「クリスタルフルート」によるイージーリスニングコンサート。
1月28日(火)19:30  講堂  「ポカホンタス」より カラー・オブ・ザ・ウィンド ほか  福谷一美(クリスタルフルート)、北村麻也子(エレピアノ)

『福谷一美フルートリサイタル』

近現代の本格的なフルート作品によるコンサート。
1月29日(水)19:30  講堂  フルートとピアノのための二重奏曲より 1. Flowing / A. コーブランド ほか  福谷一美(フルート)、大橋邦康(ピアノ)

『ふえふきねずみとあそびましょ♪』

楽しいお喋りとライトクラシックのコンサート。お子様も入場できます。
1月30日(木)14:30  講堂  仔犬のワルツ ほか  福谷一美(フルート)、北村麻也子(ピアノ)

 各日1,500円  F×O企画  京都芸術センター ●チケット取扱・問合せ：TEL：075-771-6556(フタタニ) WEB：https://oto-gram.akiyo.jp/

図書室休室日：2019年12月25日(水)－2020年1月4日(土)、31日(金)

制作支援事業 (制作室使用者による公演・展覧会)

現代演劇レトロスペクティヴ コンプリ団『紙屋悦子の青春』

1992年初演の松田正隆氏の名作戯曲を、はしぐちしんの演出で上演。
1月17日(金)19:30、18日(土)14:00／18:30、19日(日)14:00  AI・HALL(兵庫県伊丹市)  一般前売2,800円、U22前売1,500円 ※当日は各500円増、高校生以下800円(前売・当日共)  AI・HALL伊丹市立演劇ホール TEL：072-782-2000 E-mail：info@aihall.com／コンプリ団 WEB：https://conburidan.blogspot.com/p/contact.html

kurage『傷みたい濡れない眼』

ある一篇の詩を見つめて現れて来た世界を踊りとして出現させる、ソロ公演。
1月25日(土)15:00／19:00、26日(日)15:00  人間座スタジオ(左京区)  一般前売2,000円、学生前売1,800円(当日は各200円増)  kurage E-mail：kuragetozech@gmail.com TEL：090-3713-7194

gallop『ダブルプラス・グッドフル・アングッド』

ジョージ・オーウェル作『1984』をテーマにした新作パフォーマンス。

【京都公演】

1月31日(金)19:30、2月1日(土)14:00／18:30、2日(日)16:00  スタジオ・ヴァリエ(左京区)

【横浜公演】(TPAM2020フリンジ参加作品)

2月15日(土)17:00／21:30、16日(日)18:00  The CAVE(神奈川県横浜市)  前売2,500円／当日3,000円 ※12歳以下は保護者同伴を推奨  gallop TEL：050-5437-1407 E-mail：galloppppps@gmail.com

TICKET 【チケット】

ロームシアター京都×京都芸術センター U35創造支援プログラム“KIPPU”オルタ『超衆芸術 スタンドプレー』

「自らが演じること」と「演じることを観ること」の関係が演者と観客、都市と劇場のなかで立ち上がり、人間の共存について問います。
2月8日(土)15:00、9日(日)18:30、10日(月)19:00、11日(火・祝)14:00  ロームシアター京都 ノースホール(左京区)  一般2,999円、U25 2,499円 ※当日各500円増 高校生以下999円(前売・当日共)  門オルタ E-mail：mail@olta.jp  京都芸術センター、ロームシアター京都、京都市

居留守『鳥を吐き出す。』

Co-programカテゴリーD採択企画。複数のテキストをコラージュした演劇作品。
2月13日(木)19:30(公開ゲネプロ)、14日(金)19:30、15日(土)14:00/19:30、16日(日)15:00  フリースペース ●演出：山崎恭子  一般前売2,800円／当日3,000円、学生前売2,500円／当日2,800円 ほか ●チケット取扱：京都芸術センター、居留守 WEB：https://irusu-kyoto.tumblr.com/   居留守  京都芸術センター

第257回 市民狂言会

3月6日(金)開場18:30 開演19:00  京都観世会館(左京区)  岡太夫、土筆、魚説経、仁王  茂山あきら、千三郎、千五郎 ほか  前売2,500円／当日3,000円 ●チケット取扱：京都芸術センター、大丸京都店、チケットぴあ(Pコード：499-084) ほか ※団体券2,200円(20名以上)は京都芸術センターにて取扱  京都市

OPEN CALL 【募集】

「We Age」公募展プロジェクト

概ね65歳以上の方からプランを募集し、京都芸術センターと共に実現します。
●募集ジャンル： ロック(カバー曲も可)、映像、ファッション、パフォーマンス(ダンス、コント等何でもあり) ●応募資格： プロ・アマ問わず。ただし、応募者あるいはメンバーの大半が65歳以上。 ●作品展示： 2020年4月11日(土)－5月17日(日) ※ロック、パフォーマンスは4月11日(土)・12日(日)  ギャラリー北・南(展示作品)、フリースペース(上演作品) ●応募方法： 所定の応募用紙と作品資料を、郵送もしくはE-mailにてお送りください。 ●締切： 2020年1月13日(月・祝)

前田耕平「Love Noise(仮)」プロジェクトメンバー募集

2020年3月に開催する展覧会に出展する作家前田耕平が取り組む「Love Noise(仮)」のプロジェクトメンバーを募集します！ 2月にはメンバー全員で愛をリリースするパフォーマンスを実施します。
2月1日(土) ※時間未定  京都芸術センター  無料  年齢・国籍・性別不問 ●申込・問合せ：京都芸術センター TEL：075-213-1000 E-mail：info@kac.or.jp



北藤根鬼剣舞(岩手県)

伝統芸能文化創生プロジェクト

シンポジウム&公演

「鬼と芸能：古今東西の鬼大集合」

日本の「鬼」は、怖れの対象になることもあれば、幸福をもたらす存在になることもあります。古典芸能や民俗芸能に登場してくる両義的な鬼の姿を、シンポジウムと公演で浮き彫りにします。第一部のシンポジウムでは、文化人類学や民俗学、音楽研究の専門家と、能と民俗芸能のドキュメンタリー映画を撮り続けてきた映画監督をお迎えして、鬼と芸能の関係に迫るとともに、ユネスコの無形文化遺産に登録された「来訪神」とのかかわりから鬼を取り上げます。第二部の公演の演目は、岩手県の「北藤根鬼剣舞」、佐賀県の「母ヶ浦の面浮立」、狂言「節分」の3本立てです。全国に広がる「鬼」の芸能を、様々な角度から掘り下げる総合イベントです。



母ヶ浦の面浮立(佐賀県)

狂言「節分」



伝統芸能文化創生プロジェクト

シンポジウム&公演

「鬼と芸能：古今東西の鬼大集合」

日時：2月8日(土)開場12:30 開演13:00

第1部 シンポジウム 13:00-15:30

基調講演：小松和彦(国際日本文化研究センター所長)

シンポジスト：横山太郎(立教大学教授)

川崎瑞穂(神戸大学・日本学術振興

会特別研究員)

三宅流(映画監督)

第2部 公演 15:45-17:00

演目：北藤根鬼剣舞(岩手県・北藤根鬼剣舞保存会)

母ヶ浦の面浮立(佐賀県・母ヶ浦面浮立保存会)

狂言「節分」(鬼：茂山千五郎、女：島田洋海)

会場：京都芸術センター講堂

料金：無料(先着順・要事前申込)

定員：150名 ※定員に達し次第、受付終了。開演までに来られない場合は、必ずご連絡ください

申込・問合せ：伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィス

TEL:075-255-9600 E-mail:taro@kac.or.jp



京都芸術センターは、
2020年4月に開設20周年を迎えます。

テーマは「We Age」

(ウィー・エイジ)



(ロゴデザイン：松本久木)



各イベントの詳細・最新情報はウェブサイトでご確認いただけます。

公式ウェブサイト

<http://www.kac.or.jp>



kyotoartcenter



@Kyoto_artcenter



京都芸術センター叢書 二
「伝統芸能ことはじめ」

小林昌廣 著 定価 3,456円(税込)

京都芸術センター窓口、もしくは
下記ウェブサイトよりご注文いただけます。
<http://www.kac.or.jp/shop/>

京都芸術センター KYOTO ART CENTER

交通案内

●市営地下鉄烏丸線「四条」駅/阪急京都線「烏丸」駅

22番出口・24番出口より徒歩5分。

●市バス「四条烏丸」下車、徒歩5分。

開館時間

●ギャラリー・図書室・

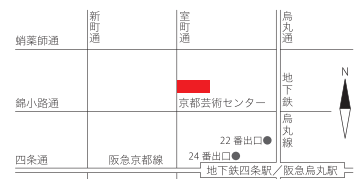
情報コーナー・チケット窓口 10:00-20:00

●カフェ 10:00-21:30

●制作室、事務室 10:00-22:00

休館日 12月28日から1月4日

※設備点検のため臨時休館することがあります



〒604-8156 京都市中京区室町通船場下町山伏山町546-2

TEL: 075-213-1000 FAX: 075-213-1004

E-mail: info@kac.or.jp

指定管理者：公益財団法人京都市芸術文化協会